

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

413

和歌山公園施設整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		和歌山公園管理費	
	大事業		和歌山公園管理事業	
	中事業		和歌山公園施設整備事業	

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山城整備計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	和歌山城整備企画課	山路 都子	435-1044
事業実施の根拠法令		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山城公園・岡公園の各施設の修繕・工事・業務委託等により整備を図り、来園者に安全で快適な環境づくりを行う。		和歌山城公園・岡公園の施設整備、充実に要する経費			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		東堀ばつき装置増設工事 岡公園周辺整備工事 岡公園トイレ改修工事 その他修繕	天守閣前売店改修工事 岡公園周辺整備工事 バス駐車場発券機・精算機取替修繕 その他修繕	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。 工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。 工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。	老朽化した施設・道具等の修繕・整備工事等を行う。 工事完成後は、施工業者から提出される報告書を基に、担当者が現場確認を行っている。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	50,197	77,579	20,962	100,083	14,607	18,812	41,258	0	9,629	0	
伸び率(%)	308.8%	△70.6%	△58.2%	29%	△30.3%	△81.2%	182.5%	△100%	△76.7%	0%	
人件費	正規職員	15,976	15,579	18,106	18,026	18,062	18,142	18,062	0	18,062	0
	正規職員以外	3,243	3,082	2,875	2,577	6,136	6,136	6,136	0	6,136	0
	小計	19,219	18,661	20,981	20,603	24,198	24,278	24,198	0	24,198	0
国庫支出金	12,500	27,162	0	37,232	2,740	2,961	15,816	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	11,200	21,600	0	35,900	1,100	4,500	13,500	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	26,497	28,817	20,962	26,951	10,767	11,351	11,942	0	9,629	0	
所要人数(人)	正規職員	2.01	1.96	2.27	2.26	2.26	2.27	2.26	0.00	2.26	0.00
	正規職員以外	1.21	1.15	1.19	1.12	1.80	1.80	1.80	0.00	1.80	0.00
主な予算内訳	機械修繕料(1,871千円)・所々修繕料(7,255千円)・整備工事請負費(3,002千円)										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
公園内修繕件数		件	目標値					
			実績値	45	45	49		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
整備(工事)件数		件	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	3	1	1		
			達成度(%)	75%	25%	0%	0%	%
来園者へのアンケートによる「面白かった」「楽しかった」と答えた人の割合		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	87.1	90	90		
			達成度(%)	87.1%	90%	0%	0%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	吹上ロ芝張整備工事が完了した。また、砂の丸トイレ整備のための設計が完了した。平成31年度は砂の丸トイレ整備工事を行うことから予算が増大する。
見直し・改善内容	